

## 令和3年度学位記授与式 理事長挨拶

学位記並びに修了証書を授与され、各々の課程を卒業される皆さんに、心よりお祝いを申し上げます。

また、卒業生の皆さんを熱心に指導され、ここまで支え、導いてこられた教職員の方々に対しまして、この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

本来であれば、ご来賓にご隣席を賜り、皆さんのご家族にもご参加をいただいで本式を挙行すべきところではありますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、やむなく学内関係者に限定をさせていただきました。改めてお詫び申し上げますとともに、ご理解をいただきたいと思います。

皆さんの在学期間は、コロナ禍により様々な制約が課せられ、入学当初に思い描いていたような勉学や私生活が必ずしも実現できなかったかもしれません。しかし、その厳しい状況を、ここにいる仲間と伴に乗り越えてきた経験は、これから皆さんが歩んでいく人生の中で必ずや大きな糧となってくれるものと信じています。

卒業式にあたり、社会人の先輩として皆さんに餞の言葉をおくりたいと思います。これからの社会人生活の中で実践していただければ幸いです。

皆さんはこれから、大学のようなほぼ同じ年齢で、同じ目標や価値観を有した人々からなる同質の社会集団ではなく、様々な世代の方、違う考え方・価値観を持つ人達とも一緒になって仕事をしていくこととなります。その中で、仕事に対する誇りと意欲を高く持ち続けながら、楽しく、生き生きと仕事をしていくためには、自分自身を見失わないこと、そして、周囲との協調性を保つことが大変重要であると私は考えています。

自分を見失わないためには、まず自分の中でしっかりとした考え・意見を持つことが必要です。そして、それは単なる思いつきや感覚ではなく、知識や経験に裏打ちされた論理的なものでなければなりません。知識には普遍的なものもありますが、社会環境の変化や科学技術の進歩によって陳腐化していくものもあります。社会人になっても学び続ける姿勢を忘れないでください。

また、協調性を保つためには、相手を理解することが必要であり、相手の立場になって考えるなど、視点を変える「複眼的思考」が必要となります。この思考方法を身につけるには意識して実践する訓練が必要となります。

自分の意見を持つことと、協調性を保つことは、時にぶつかることがあります。どこで折り合いをつけるかは大変難しい問題です。判断に迷った時は、上司・同僚や友人・家族に相談するのも良い方法です。あなたの背中を押してくれたり、気づけなかった解決方法をアドバイスしてくれるかもしれません。

さて、新型コロナウイルスは、未だ第6波の終息が見えない状態が続き、皆さんがこれから飛び立とうとしている医療の世界は依然として厳しい状況が予想されます。そのような中、初志を貫徹され看護職として歩みを進めようとされている皆さんに対しまして、改めて敬意を表したいと思います。

皆さんのこれからのご活躍とご健勝を心より願っています。

令和4年3月16日

理事長 藪田 亨